

## お客さまへのメッセージ

理事 部長

近藤 俊次 (営業統括 産業ソリューション事業部)

## 「ワンストップ」と「C3コンピテンシー」

日頃より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

私はこれまで、プラントエンジニアリング業界やコンビニエンスストア業界のシステム化計画や開発・導入、運用保守に携わらせて頂きました。

私の信条は「システムを売るのではなく、システムに関わるサービスを提供し、お客さまに喜んでいただく仕事をする」というものです。

その原点は、入社すぐお世話になったお客さま先で、システム部門の一員として常駐していたときの経験にあります。ひとつは、ITを利用するさまざまな立場の方の声に触れ、多角的な視点を得たこと、もうひとつは、長期的なスパンでIT利用の全ての場面をご支援できたことで、ITのライフサイクル全体を見渡す視点を得たことです。

その経験から、システムをラジコンカーに例え、「設計書通りに組み立てること」が私たちの仕事ではなく「利用者が操作しやすく、走曲止バランスのとれたラジコンカーを設計・製作し、レースで優勝してもらう」ことこそが、私たちの本来の仕事なのだと認識しました。

さて、今年度から産業ソリューション事業部を担当し、製造業や金融業界のお客さまにもお世話になっていますが、この信条は変わりません。事業部門（エンドユーザー）の皆さまとお会いする機会を多くつくり、お客さまに最適なサービスをいち早くお届けして、お客さまの事業に直接貢献していきたくと思っています。

●私たちの目指す行動モデル : C3 (Cキューブ) コンピテンシー ※造語です

明確になった課題を解決する活動スタイルでなく「お客さまの関心 (C) 懸念 (C) 心配 (C) に注目して解決にコダワル活動スタイル」を心がけます。

●私たちの目指すサービス : ワンストップサービス

検討・計画・システム要件定義・製品選定・開発・運用・保守の、どのフェーズからでも対応し、総合的・包括的にサービスを提供いたします。

まだ行き届かない面もありますが、このようなノウハウを深化させ、お客さまの視点に立って実行する「No.1パートナー」を目指してまいります。



今年も100Km完歩！

## エコテクノ2015

# ご来場ありがとうございました！



今年も10月7日～9日、西日本総合展示場で行われた、エコテクノ2015【地球環境ソリューション展】に出展いたしました。10月のさわやかな秋晴れに恵まれ、今年も大盛況で、3日間合計28,432人ものお客さまが来場されました。

弊社ブースでは、「ITでeco!」をテーマに、「資源循環・健康・安全安心」の3つのキーワードをクローズアップして、さまざまな製品やサービスを、たくさんのお客さまにご紹介することができました。

### ◆ITで つないで eco!

製造から廃棄物処理まで資源循環をご支援

- ・HYBRID製造1901
- ・HYBRID調達
- ・GreenPlanetPack / GreenPlanetPack+

### ◆ITで あつめて eco!

社員の健康管理・活動支援をサポート

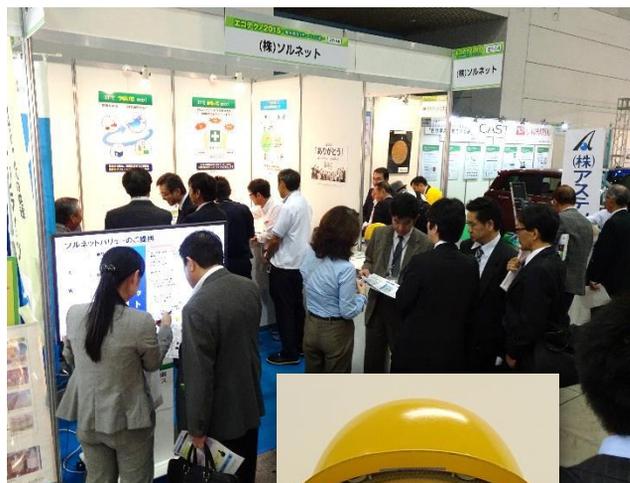
- ・HealthPartner2015

### ◆ITで まもって eco!

職場の安全安心を守るソリューション

- ・スマートグラス
- ・音声認識デバイス など

ブースでは、数多くのお客さまに、スマートグラスをご体験いただきました。「北九州ではなかなか体験できないね!」と、皆さまにお喜びいただきました。



また、特設ステージでは「ITで守る 資源・健康・安全安心」というテーマで、プレゼンテーションを実施しました。さまざまな企業で今日直面している、資源循環や、

社員の健康維持・増進、職場の安全管理などの問題に対し、ITでいかに貢献できるかということについて、弊社の取組みをご紹介しました。

ブース・セミナーにご来場いただきました皆さま、本当にありがとうございました。





## 女性の大活躍推進福岡県会議 インタビュー記事が掲載されました



女性の大活躍推進福岡県会議 HPより  
<http://www.we-project.jp/manager/solnet>

弊社も参加している「女性の大活躍推進福岡県会議」では、参加団体の経営者インタビューを、順次ホームページに掲載しています。

その第二回では、48年前の創業以来、女性の働きやすい職場づくりを続けてきた弊社の取組みについて取材いただき、ホームページでご紹介いただきました。



## 100キロウォーク 今年も参加！

行橋～別府100キロウォークでは、社員と家族、グループ企業メンバーに加え、お客さまにも合流いただき、総勢30名で参加しました。歩き続けること20～24時間、参加者は足腰の痛みや苦しみを乗り越えて大きな達成感を、その様子を見ていたサポートメンバーも素敵な感動をもらった、心に残るイベントでした。



## 第6回 チェンバーズパックユーザー会総会 in さいたま



弊社の商工会議所様向けソリューション「チェンバーズパック」をご利用頂いている商工会議所さまによる“ユーザー会総会”を、さいたま商工会議所で開催しました。商工会議所さまの業務に関する共通課題やIT運用などについて、参加者同士、胸襟を開いて熱心に語り合う様子に、私たちもさらにパワーアップしてお客さまを支えていきたいと、一同気持ちを新たにいたしました。



## 大賑わいでした！新人成果発表会

弊社の新入社員は、3ヶ月間のアプリケーション開発研修を行い、毎年この時期に成果発表会を行います。初々しい新人を相手に、2年生社員がブラザーとなって、一緒に悩んだり汗をかいて作り上げたアプリケーションを、社員に披露する場です。

今年は「旅行」をテーマに、音声認識やAPI、ARなどの各種技術を組み合わせ、工夫を凝らした成果を発表し、先輩社員の温かい拍手とともに、新人研修を終えることができました。



工夫した機能やこだわった点を先輩社員にプレゼン

# J A P A N品質を海外に！

皆さま、こんにちは！ ITライフサイクルグループ 第1チーム 泉原です。

私たちの事業部は、エンジニアリング業界に向けた各種事業を展開しています。その中で私たちのチームは新日鉄住金エンジニアリング様のシステム運用・保守を担当しています。

今回は、担当しているシステムの一つである「海外業務システム」の保守・運用について、ご紹介します。

海外業務システムはその名の通り、タイ、シンガポール、インドネシア、インドなどアジアを中心とした地域に展開されており、各拠点の日本人スタッフの方や現地ローカルスタッフの方など、幅広く利用されています。

海外でのシステム利用という特徴があるため、メンバー全員が「円滑なコミュニケーション」を意識し、さまざまなコミュニケーションツール

(メール、携帯電話、TV会議、翻訳ソフト)

を活用して、お客さまとの距離感が発生しないように取り組んでいます。

また、日本国内で培ってきた「お客さま業務に関する知識」や「保守・運用サービス体系」をベースとして、海外でも日本と同等のサービス品質を目指しています。

これからも国内・海外を問わず、お客さまのご期待・ご要望にIT技術でお応えできるよう、メンバー一丸となり「お客さまの関心・懸念・心配に注目して解決にコダワル活動スタイル」で日々取り組んでまいります。

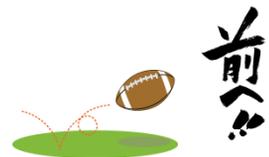


左から 泉原、東、堀江、砂、三宮

(ITライフサイクルグループ 第1チーム 泉原 健治)

## メンバー紹介

### ■お客さまへの一言■



- |               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| <b>泉原 健治</b>  | お客さまの期待に円滑に応えられるチーム作りを行っていきます     |
| <b>三宮 敏次</b>  | いつも明るく・全力でお客さまの課題解決に取り組めます        |
| <b>砂 和子</b>   | 今まで以上に迅速かつ丁寧なサービスをお届けいたします        |
| <b>東 純子</b>   | お客さまの要望に迅速にお応えできるよう健康第一で頑張ります     |
| <b>堀江 真由美</b> | タイムリーなコミュニケーションを心掛けて保守運用の対応をいたします |

# OSS (オープンソースソフトウェア) への取り組み



ビジネスのグローバル化やクラウドの普及に伴い、今やシステム構築においてOSSの適用検討は「当たり前」の時代となりました。弊社も、システムに組み込む“コンポーネント型OSS”(\*)の利用を積極的に進めています。その目的は、全てを手作りせず、認証やワークフロー等の機能にコンポーネント型OSSを利用することで、ユーザー要件を満たす高機能なシステムを、低コストで提供することが可能になるからです。

今回は、このコンポーネント型OSSについてご紹介します。

## ■コンポーネント型OSSのメリット

OSSの最大のメリットはコストの削減です。また、機能分割が明確な“コンポーネント”を組み込むことで、システム全体が構造化され、仕様変更に強いシステムの構築も容易になります。さらにオープンでデファクトスタンダードな仕様が採用されることが多いOSSを利用する事で、時代の変化に柔軟に対応し、陳腐化しないシステムを構築することができます。



### ※コンポーネント型OSS

システムに組み込んで使用するOSSを弊社では便宜上“コンポーネント型OSS”と呼んでいます。

## ■OSSの課題

一方、OSSの最大の課題はサポートです。世界中の技術者が参加するコミュニティからサポート情報が提供されたり、Linux® のように有償サポートが提供されるものもあります。商用版か、OSSか、あるいは、有償サポートを利用するかは、システムの特性を総合的に評価して決定する必要があります。また、OSSの継続性を危惧する声もありますが、この点については1社の思惑で左右される商用版より、世界中の技術者に支えられているOSSの方が安心だという声も少なくありません。

## ■弊社の対応

弊社ではOSSを利用する前に、提供元やコミュニティの成熟度を私たちの部門で評価して利用の許諾を行うルールを設け、許諾済みOSSの情報を社内でも共有しています。また、JBグループ全体でもOSS利用を促進しており、利用技術の向上や情報共有を目的としたOSSコミュニティの活動を行っています。弊社もこのコミュニティに参加して、課題解決と、技術者ネットワークを強化するための活動を行っています。

次号では、多くのお客さまのシステムで採用される機会が多いコンポーネントである「開発フレームワーク」、「認証」、「ワークフロー」、「データ連携」のOSSをご紹介します。次回もぜひ、ご期待ください。

(技術支援グループ 園田 慎二)



※ Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

## ぶつかりあって 認めあって

弊社では、1年半前に職場環境の見直しを行った際、長年それぞれの執務室で仕事していた営業・SE・サービスのメンバーが、ワンフロアに集まりました。メンバー間のFaceToFaceのコミュニケーションが従来より増えたことで、リアルタイムに情報共有を行えたり、相互理解が深められるようになってきたと思います。

執務室には、いくつか打ち合わせテーブルがあり、ちょっとしたミーティングが行えるようになっています。それまで、打ち合わせは会議室で行われることが多かったせいか、このように他のメンバーが会議をしている様子を目にするのは、なんだか新鮮な感じです。

あるとき、そのテーブルから、少し大きな声が聞こえてきてびっくりしました。メンバー間で意見が分かれ、激しい議論になっているようです。みんな、「お客さまのお役に立ちたい」という目標は、間違いなく同じなのですが、その進め方や方法について、それぞれの持っている情報や経験の違いで意見が異なるということは少なくありません。お互いそれを理解しよう、理解してもらおうと真剣になるあまり、声もついつい大きくなってしまいます。

経験を積んだ先輩社員の意見が、必ずしも正しいということはありません。若いメンバーの方が、最新の技術について詳しくあったり、いつも接するお客さまの価値観を正しく把握しているということもあります。

上下関係にとらわれず、お互いの得意な部分を認めあいながら、みんなが納得いくまで、話し合いは続きます。



一緒にがんばれるチームメイト

ぶつかりあいながらも相手と自分のギャップを埋め、信頼関係を築いていく様子は、とても頼もしく、「ソルネットはワンチームなんだ！」という実感を、改めて強く感じるようになりました。

(Y.Nishino)

### 編集後記

毎年10月に北九州市で開催される「エコテクノ」。弊社の出展も4回目となりました。会場には、先進的な製品や技術、施策、サービスなど、各企業がいろんな角度から環境問題やエコへのアプローチをされていて、毎回新しい発見があります。こうしてお互いに良い刺激を与え合うことが、「世界の環境首都」の実現につながっていくのかもしれないね。

(K.K)